

うえなえ

Vol.430 2024.3

精神保健福祉に関する法律 一部改正について

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等を一部改正する法律が、昨年(2022年)の12月に公布されたことに伴い、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律についても一部改正され、昨年(2022年)の4月に第1弾が施行された。本年(2023年)4月からは第2弾の改正が施行されるため、その内容について國田精神保健福祉士に報告してもらった。

2023年の改正ポイント

- ① 家族が虐待等の加害者である場合の対応
虐待やDVの加害者であるご家族は同意の対象外となり、「市町村長の同意」申請が可能となった。
- ② 入院患者への告知に関する見直し
医療保護入院(措置入院も)のお知らせも入院理由を明記し、ご家族にもお渡しすることになった。
- ③ 新規申請に向けた指定医研修会の有効期間延長
精神保健指定医の講習後からの申請期間が1年から3年になった。

2022年12月16日の「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等」を一部改正する法律が公布されたことにより「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」も一部改正され、2023年4月に施行となった。この際には、大きく3つのポイントが改正となっていた。(詳細は、左記の図を参照)

今回は、昨年(2022年)の第1弾に続き第2弾の改正となった。ポイントとしては以下の5点である。

- ① 医療保護入院の市町村同意対象者の拡大
- ② 医療保護入院期間や手順の変更
- ③ 地域の福祉等関係機関の紹介を努力義務から義務化する
- ④ 入院者訪問支援事業の創設～市町村同意の医療保護者を対象
- ⑤ 精神科病院の虐待防止に向けた取り組み

①については、これまで疎遠であってもご家族と連絡が取れる際には市町村同意の対象とはならなかったが、医療保護入院者への支援にはつながらないことや人権擁護の観点から市長村長の同意対象者を拡大した。②については、これまで医療保護入院の期間は定められておらず1年が経過するごとに「医療保護入院者定期病状報告」という書類を医療機関が保健所(道)に提出していた。今回、退院支援を促進し長期入院を防止する観点から「入院期間を最大6か月間」と期間を定め、さらに、初回の期間は「3か月」とし、入院2か月目の2週間以内に「退院支援委員会」を開催しご家族が同意を得たなら再度「同意書」を記載していただくこととなった。一方、最大6か月の期間を超えて医療保護入院が継続する場合には、その一定の要件(病状やご本人の意思確認等)を書面で提出することとなった。③については、退院支援を促進するため努力義務から義務化となった。④については、市町村長同意による医療保護入院の患者さんに対して人権擁護と退院支援の促進のため入院中から登録された支援者が面会に来て、相談援助を受けられるようにする新事業となっている。ただし、都道府県の任意事業となっており詳細についてはまだ具体的にはなっていない。⑤については、院内に「虐待相談窓口」を設置するなどして相談体制を整備することが求められている。

上記により、当院でも昨年に引き続き今回の改正における書式の見直しや体制作り・各部署との連携が必要となっており、今後詳細を決めていくこととなっている。③については、これまで退院支援を行う上で地域の関係機関の方にも積極的に関わっていただき、入院時だけでなく入院中のDr面談への同席や入院患者さんとの面会をお願いしていた。今後も福祉関係事業所の紹介だけでなく施設見学や面談の同席等を積極的に行い早期退院への取り組みを推進していきたい。

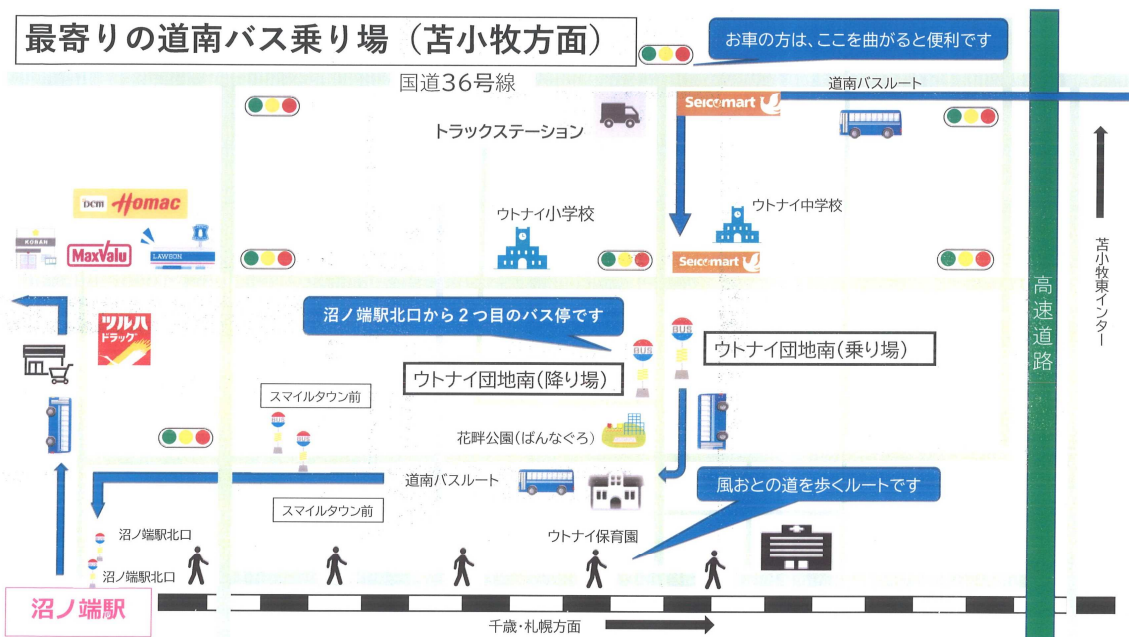
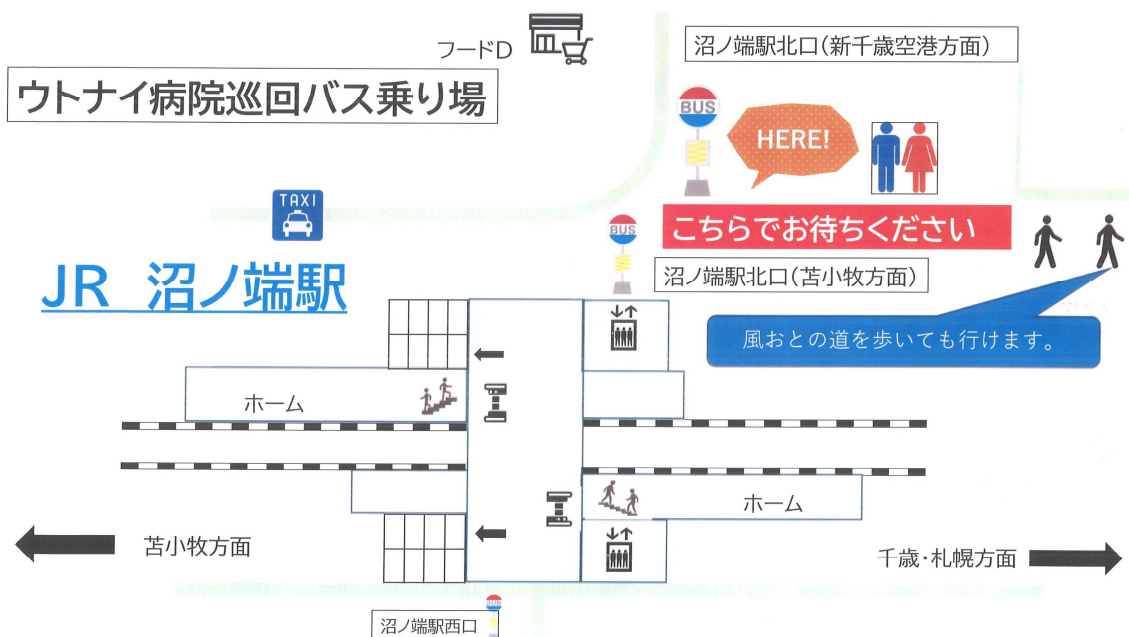
また、今回の改正でご家族の方には「退院支援委員会」の参加や同意書の記載等で来院していただく頻度が増えると思いますが、ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

ウトナイ病院通信

最終回 バス乗り場について

2022年10月号の地鎮祭から始まったこの連載もついに最終回を迎える事となりました。今、初回から見直しながらウトナイ病院への道のりを思い出しているのですが、色々な事が既に懐かしいになっている自分に少し驚いています。

さて、今回はウトナイ病院巡回バス乗り場（沼ノ端駅北口）と最寄りの道南バス乗り場（苫小牧方面）についてです。既に2023年1月号のウトナイ通信で触れていますが、ウトナイ病院巡回バスは2023年12月4日（月）より、月曜日から金曜日まで運行する1号車（ウトナイ病院⇄沼ノ端駅北口）と2号車（ウトナイ病院⇄川治体育館）、土曜日・日曜日・祝日（ウトナイ病院⇄沼ノ端駅北口）の3種類に変更となっています。停車するバス停も植苗病院巡回バスとは異なっているため、初めての方から乗り場についての問い合わせが増えているため、簡単ではありますが、図にまとめましたのでご利用の際の参考になさってください。



なんだか尻切れとんぼの様な最終回となってしまい申し訳ありません。ウトナイ通信は今回で終了となりますが、次号からはウトナイ病院の各部署紹介の連載が始まります。当院をご利用されている皆様にとって必要な情報となるようにしていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



精神科医 田中 尚朗

第12回 物事が変わるにもほどがある！

みなさんこんにちは。今回は廃線めぐりから離れて、米国社会において鉄道網の発達をもたらした影響について少し考えてみようと思います。

入植の当初、開拓民たちの移動手段は徒歩か馬であり、海岸に限り船を使うことができました。北米最初の13州はすべて東部の大西洋に面しています。

次に発達したのは内陸への水運です。日本と違って平地の多い北米では、川幅の広い河川を大いに活用することができ、河川同士を結ぶ運河も建設されました。マサチューセッツ州ボストンから隣のニューハンプシャー州に至る「ミドルセックス運河」は19世紀初めに建設され、同世紀の終わりには使われなくなってしまいましたが、今でも断片的な遺構がわずかに残っています。

しかし、水運には使い勝手の悪さがありました。季節や天候に大きく左右されてしまうのです。洪水による通行不能、冬期間の結氷などにより、移動や輸送の予測がなかなかできなかったのです。

鉄道の登場はこの状況を一変させました。週に何回の船が出るかというところから、1日に何本の列車があるかという話になったのです。当然人々の時間感覚も変わり始めました。それまでは各々の町で南中時刻を基準に時間を決めていました。しかし単線がメインのこの時代、複数の列車が異なる時計で動いているのは、容易に混乱・衝突事故が起きてしまいます。そこで1833年、鉄道会社のイニシアチブで、今に至る4つの標準時がつくられたのです。

日にちを決めて物資を大量輸送できるという状況は、経済活動をも変えていきます。小麦などの農産物は、もともと現物を目の前にして取引するものでしたが、もはやその必要もなくなりました。「何月何日にこの量の小麦をこの場所で受け取る」という権利そのものが売買されるようになったのです。先物取引の発祥は大阪とされていますが、受取日と輸送も含む権利の取引市場は19世紀にシカゴで大発展を遂げています。



我が家のわんこが先日14歳になりました。

ひな（犬の名前）が我が家に来た時は父、母、私、猫の3人と2匹でした。専従の猫はかなりやんちゃで猫の方が強かったようです。ひなはお利口さんで家族にも愛されてアイドルでした。特に父は元々犬好きでとても可愛がってくれました。その犬がもう14歳。その間私の両親が亡くなり今では1人と1匹。いや気分

は二人暮らしです。

昨年の10月のことです。急に咳が止まらなくなり獣医さんに連れて行くとレントゲン気管の病気がわかりました。治る病気ではないので現在の治療も対処療法です。最初は夜咳が止まらず眠れなくて本当にかわいそうでしたが、今は少し落ち着き夜も咳で起きることがありますが、以前より寝ていられるようになりました。ただ朝晩の薬、吸入は欠かせません。食欲がなくなり体重が減ったりお母さんは大変です。私は元々小児科医ですが薬を嫌がる子、食の細い子の親御さんの気持ちが今になってわかります。ひなにはもう少し長生きしてもらいたいのので介護頑張ります。

(H.Y)

鬼のよう

コトバの刃

気をつけて

★北山

素晴らしい

喜怒哀楽な

人生を

★伊藤愛子

お知らせ

◆ 外来変更のお知らせ ◆

2024年4月1日(月)よりウトナイ病院精神科外来が下記のように変更になります。外来をご利用されている皆さまには大変ご不便をお掛けいたしますがよろしくお願い致します。ご不明な点がございましたら受付にご確認ください。

	月	火	水	木	金
午前	片岡 高木※ 川並	高塚	片岡 阿部	片岡 高木 高塚(アルコール)	片岡
午後	片岡	阿部	片岡 高木	片岡	片岡

※高木院長の月曜日午前の再診は予約制になります ※内科外来に変更はありません

◆ 電話についてのお願い ◆

代表番号に電話が集中することを防ぐため、下記のように使い分けていただけますようご協力をお願い致します。

- ①外来や入院の新患受診相談
⇒地域連携室直通
0144(84)5658
- ②受診に関することや会計・手続等のお問い合わせ
⇒代表電話
0144(84)5561
- ③入院中の方の担当コメディカルスタッフへのご相談・ご連絡
⇒リハビリテーション部直通
0144(84)1017
- ④デイケア通所中の方
⇒デイケア直通
0144(84)5774



病む人と出会い
病む人を支え
病む人に学ぶ

発行
社会医療法人こびし広報委員会
苫小牧市ウトナイ南2丁目1-8
TEL:0144-84-5561
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



色合いが春ですね。

< 後記 >

編集後記に何を書こうか悩んでいたところ、春らしいお干菓子をいただいたからとポストが持ってきてくれました！早蕨、蝶、貝などなど。手前の青いお菓子は何かなと考えているのですが、春だと何になるのでしょうか？来月までに調べておきますね。

(K.S)